

NEWS RELEASE

ベリトランス、三井住友カードと連携し、多通貨決済サービスの提供を開始 世界 16 通貨でのクレジットカード決済が可能に

ベリトランス株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役:沖田 貴史、以下:ベリトランス)は、三井住友カード株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:島田 秀男、以下:三井住友カード)と連携し、海外のインターネットユーザーが本国通貨建てでクレジットカード決済できる「多通貨決済サービス」を日本国内の EC(電子商取引)事業者に対し提供開始しました。

■多通貨決済サービスの概要

書籍・音楽・ゲームなど日本の EC サイトを利用する海外ユーザーは、昨今増え続けています。本サービスは、海外ユーザーの利便性を考慮し、外貨によるクレジットカード決済の導入を希望する日本の EC 事業者向けに提供する決済サービスです。世界 16 通貨に対応しており、EC 事業者は本サービスを利用することで、自社サイトの幅広い海外ユーザー層にあわせた外貨での決済の導入が可能となります。また海外ユーザーは、為替の変動等を気にすることなく、本国通貨で表示された金額で買い物を楽しむことができます。

■機能

16 通貨によるクレジットカードでの現地通貨決済サービス

○対応通貨:

1) オーストラリアドル AUD	7) マレーシアリングgit MYR	13) 米国ドル USD
2) カナダドル CAD	8) フィリピンペソ PHP	14) ドン(ベトナム) VND
3) ユーロ EUR	9) ロシアルーブル RUB	15) 人民元 CNY
4) UKポンド GBP	10) シンガポールドル SGD	16) 韓国ウォン KRW
5) 香港ドル HKD	11) タイバーツ THB	
6) インドルピー INR	12) ニュー台湾ドル TWD	

○対応カードブランド: Visa / MasterCard

○レート:

多通貨決済サービスを利用して決済を行った売上代金は、三井住友カードが、対応カードブランドの定めるレートにより外貨を日本円に転換し、ベリトランス経由で円建てで EC 事業者(加盟店)に支払われます。

なお、ベリトランスは、株式会社パピレス(東証 JASDAQ 3641、所在地:東京都豊島区、代表取締役:松井康子、以下:パピレス)に多通貨決済サービスの提供をすでに開始しており、パピレスの提供する海外ユーザー向けマルチデバイス対応電子書籍サイト「電子貸本 Renta!」(英語版)では、3月26日(水)よりクレジットカードによるドル決済が可能となりました。

※パピレス発表のプレスリリース: <http://www.papy.co.jp/info/index.php?page=/release/140326.htm>

NEWS RELEASE

ベリトランスと三井住友カードは、今後も両社で協力し、決済サービスの機能拡充を図るとともに、海外ユーザーや EC 事業者の新たなニーズに即応し、業界を牽引するべく努めてまいります。

【ベリトランスについて】

デジタルガレージグループで、EC 決済事業を担う econtext Asia Limited(HKEx:1390)の子会社。「EC 事業者のコアビジネスへの専念」を基本理念に、同じく econtext ASIA 傘下のイーコンテキストと共に、グループ全体で日本最大規模の EC 決済プロバイダーとして、日本国内はもとよりアジアを中心とした海外市場をカバーするグローバルな EC 決済プラットフォームの構築を目指し事業を拡大している。

URL: <http://www.veritrans.co.jp/>

Twitter: https://twitter.com/veritrans_group

Facebook: <https://www.facebook.com/veritransgroup>

【三井住友カードについて】

三井住友フィナンシャルグループのクレジットカード会社であり、国内における Visa のパイオニア。高いブランド力とソリューション力、並びにクレジットシステムの優れた安定性を活かした総合的なクレジットカード・決済事業を展開している。

URL: <http://www.smbc-card.com/>

Facebook: <https://www.facebook.com/smbccard>